

フォトジャーナリストが語る

福島 風下の村の人びと

～浪江町津島の取材体験をもとに～

日時:2023年2月5日(日)

午後2:00～4:00

場所:狛江市中央公民館 地下ホール

講師:森住 卓 さん(フォトジャーナリスト)

資料代:500円 募金歓迎!
森住さんの著書を販売します。

コロナ対策のため、先着75名

森住さんは福島第一原発事故直後から被災地、津島・赤宇木に入り、むなしさを感じながらも無人となった美しい村を撮影していました。その後、住民が国と東電を相手に訴訟、それを傍聴して、ふるさとを奪い取られた人々の辛さと悲しみ、怒りの叫びに自分にできることで応えようと思ったそうです。「浪江町津島 風下の村の人びと」(2021/10)を出版しました。



森住 卓さん略歴

1951年神奈川県厚木市生。
1982年フリー写真家。
沖縄の米軍基地や旧ソ、米、印、仏領ポリネシア、コンボなど世界の核汚染地の取材を続ける。3.11直後から福島第一原発の取材継続中。

著書:「旧ソ連セミパラチンスク核実験場 草原の民 核汚染の50年」「イラケー湾岸戦争の子どもたち」「浪江町津島 風下の村の人びと」JVJA写真集「3.11 メルトダウン」(共著)「沖縄戦 最後の証言」他多数。

賞:1996年視点展視点賞 1999年日本ジャーナリスト協会特別賞等他多数受賞。写真展:福島、沖縄、世界の核実験場、イラクなどの講演・写真展を国内各地で行っている。



森住卓写真展 福島～風下の村の人びと

中央公民館2階ショーケース 1月16日～31日



こたつ横でリラックスするニホンカモシカ。この写真を見た家人は「留守番を頼んでいるんだ」と皮肉を込めて言った。
(赤宇木 2020/2/15 森住)

主催:原発と気候危機を考える狛江の会 連絡先 西尾真人 03-3480-7477 (<http://hakarukai.clean.to/>)

森住卓講演会

福島 風下の村の人びと

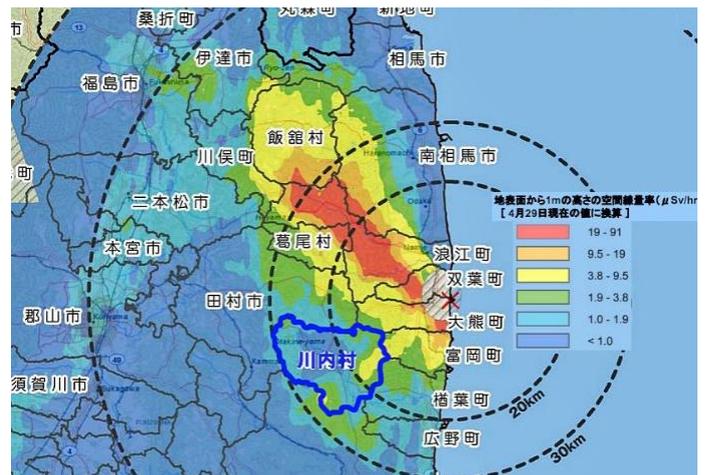
～浪江町津島の取材体験をもとに～

2023年2月5日（日）午後2時～4時

中央公民館ホール



- 2011.3.11 東日本大震災
- 2011.3.12～ 福島第一原発 メルトダウン
- 2011年12月16日 野田首相(当時) 事故終息宣言
- 2012年6月 8日 大飯原発再稼働
- 2012年12月 「原子力安全に関する福島閣僚会議」
日本政府とIAEA国際原子力機関共催 郡山市で
- 2013年9月 五輪東京誘致決定 (IOC総会アルゼンチン)
汚染水はアンダーコントロールされている(安倍首相)
- 2013年10月 避難区域見直し
- 2014年5月21日福井地裁判決
- **帰還 復興**
- 健康被害は問題ではない。
- 賠償打ち切り。
- 原発再稼働、海外輸出。
- 原発事故は**終わったこと**に→**無かったこと**にされようとしている。



原発と気候危機を考える狛江の会





原告団長の今野秀則さん 松本旅館の4代目



ふるさとを返せ 津島原発訴訟

2015年9月福島地裁郡山支部に
提訴。原告700人

2021年7月30日

同裁判所で判決が出る。
現在、高裁に控訴している。

裁判の舞台は仙台高裁に移った。
原告住民は裁判所に公正な判決を求め
る署名を集めています。
ぜひご協力を。





強引な帰還計画——特定復興再生拠点
津島地区の1.6%にすぎない。



福島県県民健康調査

事故当時0歳から18歳までの子ども38万人を対象に甲状腺検査が行われている。

小児甲状腺ガンの発生338人
(悪性ないし悪性疑い)

福島県民健康調査 (2022/12)

- ・過剰診断の結果、甲状腺がんがたくさん見つかる。????
- ・多くの甲状腺がんは放置しても大丈夫(県立医大 Dr. 緑川早苗)
- ・高齢で、死亡する際に解剖すると気づかないうちに甲状腺がんができて、これは放っておいても大丈夫な甲状腺がんなのです。
- ・放射線の被曝による健康影響は統計的にもゼロに近いということは言える(東大名誉教授 早川龍五)

・大人の自然発生の甲状腺がんと、
・小児期に放射線を浴びた甲状腺がん
を同列に扱うことはできない。

県民健康調査小児甲状腺がん評価部会 2015年5月
専門家の中には被ばく否定を疑問視する人も出ている。

国立がんセンター長 津金昌一郎

数十倍のオーダーで多い。

地域がん登録のデータを基に試算した。

2015年5月17日「福島県第19回県民健康調査」
評価部会に提出された「小児甲状腺がん評価部会」の
取りまとめ

60倍のオーダー

スクリーニング検査を考慮しても何らかの原因がある
と考える。

清水一雄(評価部会座長)

過剰診断ではないと言う事を自分の立場で言
うことが出来ない。

チェルノブイリ事故の4年目までにどうい
う検査をしていたのかを調べるべきだ。2012年
から13年頃はチェルノブイリほど被ばくしてい
ないので健康被害は無いと言っていたが、甲
状腺がんが増え始めた現実を前に考えが
変わってきた。



・「原発事故との因果関係は無い
とは言えないが、
これまでの評価を変えるつもりは
ない」星北斗座長

(県民健康調査甲状腺検査評価部会)